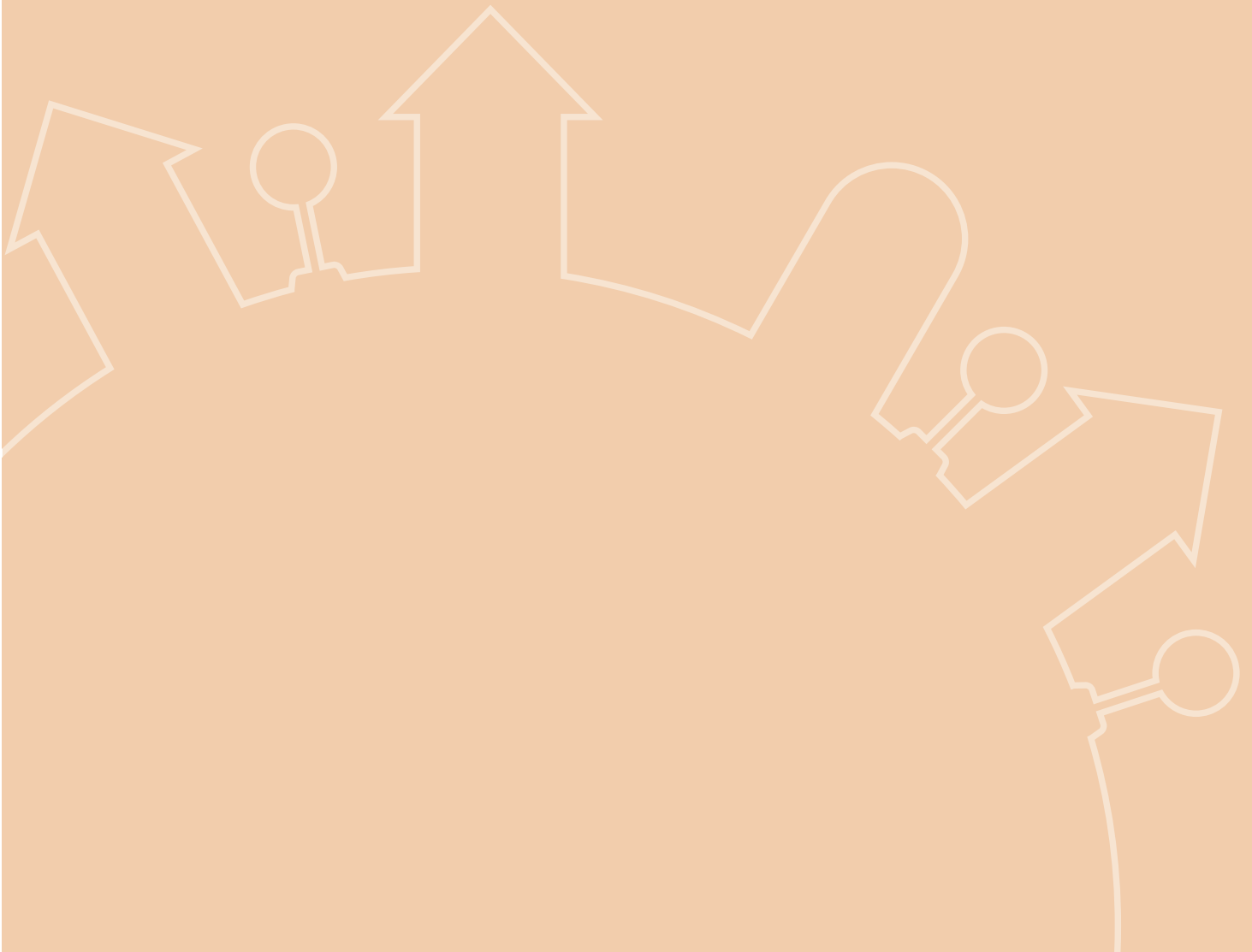


4.

業務のご案内

主要な業務の内容	66 ~ 71
総合事務センター	72

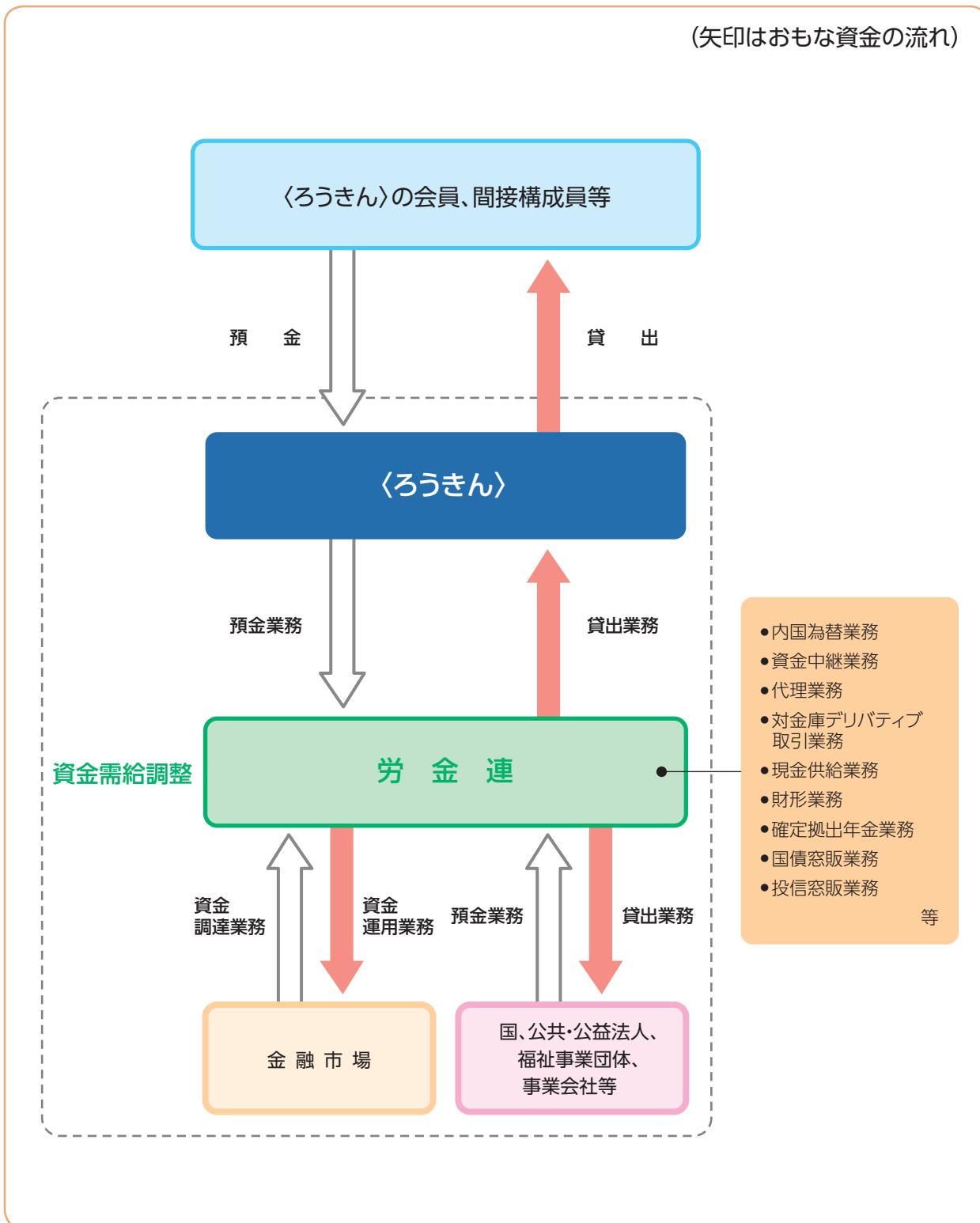


主要な業務の内容

労金連は、中央金融機関として〈ろうきん〉と預金、貸出、為替などの各種金融業務を行うとともに、福祉事業団体、勤労者の団体、事業会社などの法人を中心とした取引を行っています。

また、金融市場においては、機関投資家として資金の調達や運用を行っています。

(矢印はおもな資金の流れ)



資金調達業務

労金連の資金調達の残高(2014年3月31日現在)は、6兆331億円となっており、そのうち92.1%が預金です。

労金連が金融機能を十分に発揮していくためには、安定的な資金調達が不可欠です。このため、預金の受入れ以外にも、日銀金融調節や市場から資金調達を行うなど、多様な調達手段による流動性資金の適正な確保に努めています。



● 預金業務

労金連の預金の大部分は、会員である〈ろうきん〉から受け入れています。

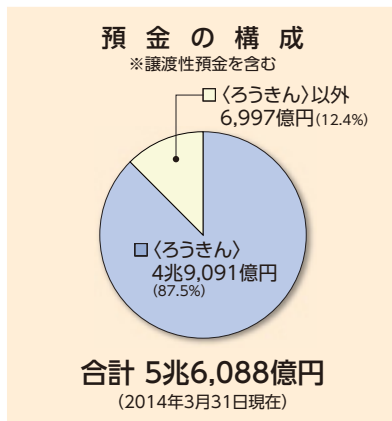
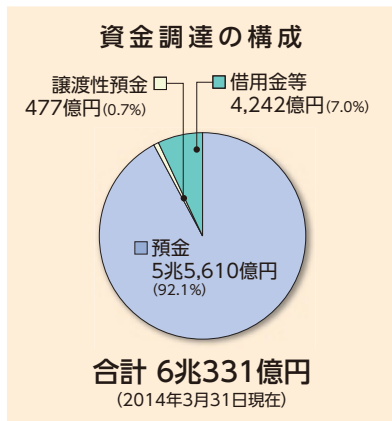
このほか、労金連では、公共法人や公益法人など、〈ろうきん〉以外のお客さまからも預金をお預かりしています。

労金連の預金の種類は、当座預金、普通預金、普通預金無利息型(決済用預金)、通知預金、定期預金など一般の金融機関とほぼ同じですが、〈ろうきん〉の中央金融機関として〈ろうきん〉を対象とした独自の預金制度を設けています。

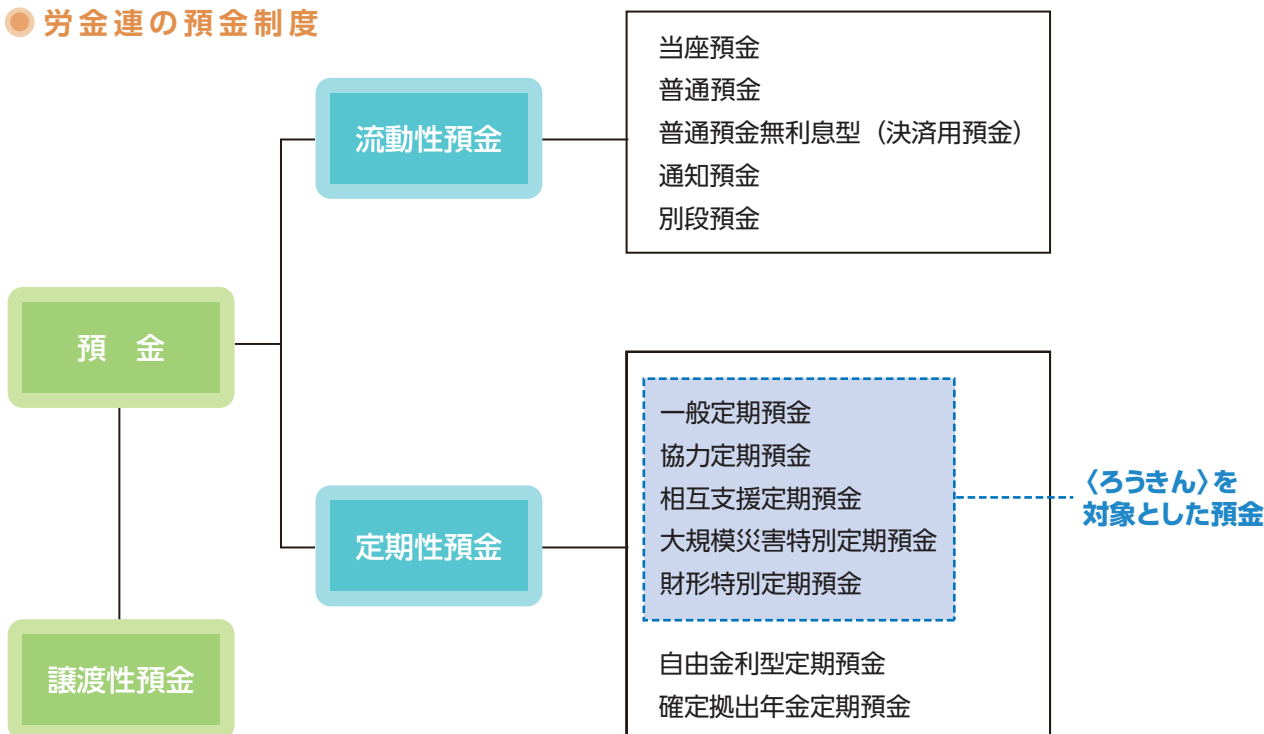
労金連は、これら〈ろうきん〉を対象とした預金により安定的な資金調達を行い、〈ろうきん〉間の資金需給調整機能を発揮するとともに、〈ろうきん〉の余剰資金の効率運用に資しています。

また、業態セーフティネットや大規模災害特別貸付の財源を確保するための預金の仕組みを作り、〈ろうきん〉業態の信用維持に努めています。

2014年3月31日現在の預金の残高(譲渡性預金を含む)は、5兆6,088億円となっています。



● 労金連の預金制度



資金運用業務

労金連には、〈ろうきん〉の余裕資金を効率的に運用し、安定的に収益を還元するという中央金融機関としての重要な役割があります。この役割を果たすため、労金連は、さまざまな運用手段を用いて資金の効率的な運用に努めています。

労金連の資金運用は金融市場運用の割合が高く、なかでもその中心的な位置を占めているのが有価証券運用です。

総資産6兆4,580億円(2014年3月31日現在)のうち、80.9%が有価証券等による運用資産です。

貸出業務

会員である〈ろうきん〉への貸出しは、〈ろうきん〉間の資金需給の調整、〈ろうきん〉業態の信用維持、災害時の被災者への支援などを主な目的としています。

また、労金連は、会員である〈ろうきん〉のほか、国や公共法人・公益法人、一部の株式会社などにも貸出しを行っています。

2014年3月31日現在の貸出金の残高は、3,882億円となっています。



市場運用業務

労金連は、全国の〈ろうきん〉の余裕資金の効率運用と〈ろうきん〉間の資金需給の調整を主な目的として、国内を中心とする金融市場で資金運用を行っています。

(有価証券運用)

有価証券運用は、中長期的な視野に立ち、期間収益の確保と自己資本の健全な成長を目的として、債券を中心としたポートフォリオを構築しています。

運用にあたっては、マクロ経済環境や市場動向の分析を行うとともに、債券の金利を主な収益源泉と位置付け、国債・地方債をはじめとする公共債、投資適格事業債、ユーロ円債等を中心とした投資を行っています。

このほか、金利上昇リスク対応としての変動債や、分散投資の観点から外国国債、株式、投資信託等にも幅広く投資を行っています。

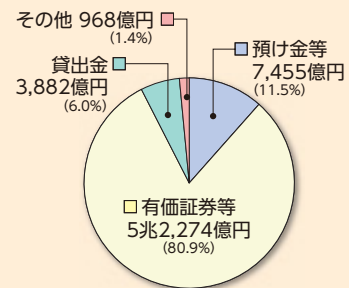
また、リスク管理は、デューレーションの管理や投資対象別限度額の設定とともに、金利リスク・信用リスク・流動性リスク等の状況をモニタリングすることにより、過度のリスクを取ることをのしないよう努めています。

2014年3月31日現在の有価証券(短期社債・その他の証券(譲渡性預け金)を除く)および金銭の信託の残高は、5兆324億円となっています。

(短期金融市場業務)

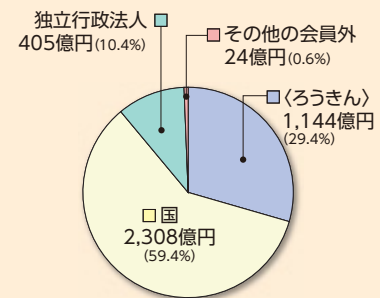
労金連は、信用リスク・流動性リスクに留意しながら、支払準備資産である短期資金の運用を行っています。労金連の2014年3月31日現在の短期運用資産残高(国への入札貸付等、短期運用見合いの貸付2,308億円を含む)は、1兆1,675億円となっています。

総資産の構成



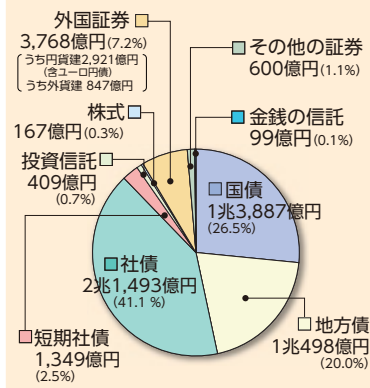
合計 6兆4,580億円
(2014年3月31日現在)

貸出先別構成



合計 3,882億円
(2014年3月31日現在)

有価証券等の構成



合計 5兆2,274億円
(2014年3月31日現在)

〈ろうきん〉業務の補完

● 内国為替業務等

〈ろうきん〉は、国内の民間金融機関との間で内国為替取引やCD・ATM提携サービスをはじめとした、各種情報ネットワークサービスを提供しています。

労金連は、〈ろうきん〉業態を代表して、労働金庫内国為替制度の運営や為替貸借の決済を行うとともに、各種情報ネットワークサービスの運営・管理やこれらに伴う資金決済を担っています。

(内国為替業務)

〈ろうきん〉の内国為替は、労働金庫内国為替制度に基づき取り扱っており、オール・ワンシステムによりオンライン処理されています。

労金連は、労働金庫内国為替制度を運営するとともに、〈ろうきん〉相互間の為替貸借の決済を行っています。

また、〈ろうきん〉は、オール・ワンシステムと全国銀行データ通信システム(全銀システム)との接続により他の全銀システム加盟金融機関ともオンラインで結ばれ、〈ろうきん〉以外の金融機関との為替取引が行えるようになっていきます。

(その他の各種サービス)

〈ろうきん〉は、全国の〈ろうきん〉のネットワークと各種提携先を接続して、さまざまな情報ネットワークサービスを提供しています。

労金連は、これらの情報ネットワークサービスの運営・管理を行うとともに、提携先との間の資金決済を行っています。

- CD・ATM提携サービス(全国〈ろうきん〉間とMICS加盟金融機関やゆうちょ銀行およびイオン銀行とのCD・ATM相互利用とセブン銀行とのATM提携)
- デビットカードサービス
- マルチペイメントネットワーク(MPN)
- CDキャッシング

● 内国為替取扱実績

(単位:件)

項目	区分	2012年度		2013年度	
		労金連	13〈ろうきん〉合計	労金連	13〈ろうきん〉合計
送金・振込	各地へ向けた分	25,201	6,447,881	275,836	6,466,098
	各地より受けた分	17,488	23,052,082	35,333	24,104,069
代金取立	各地へ向けた分	—	676	—	567
	各地より受けた分	—	255	—	228
合計	各地へ向けた分	25,201	6,448,557	275,836	6,466,665
	各地より受けた分	17,488	23,052,337	35,333	24,104,297

● 資金中継業務

労金連では、全国の〈ろうきん〉が口座振替により収納した国税収納金、国民年金保険料や公共料金、クレジットカード利用代金などの各種口座振替の資金を取りまとめ、一括して日本銀行や民間企業との決済を行っています。

また、労金連では、国の年金やその他の国庫金の振込、民間給与振込など、全国〈ろうきん〉のお客さま宛の口座振込業務も受託しています。

● 代理業務

労金連は、日本銀行歳入代理店業務のほか次の機関の業務の代理を行っています。

- 独立行政法人住宅金融支援機構
- 株式会社日本政策金融公庫
- 独立行政法人勤労者退職金共済機構
- 一般社団法人日本労働者信用基金協会
- 預金保険機構

● 対金庫デリバティブ取引業務

労金連は、全国の〈ろうきん〉に対し、リスクヘッジ機能を提供することを目的に、金利スワップ取引、金利オプション取引等のデリバティブ取引を行っています。

● 現金供給業務

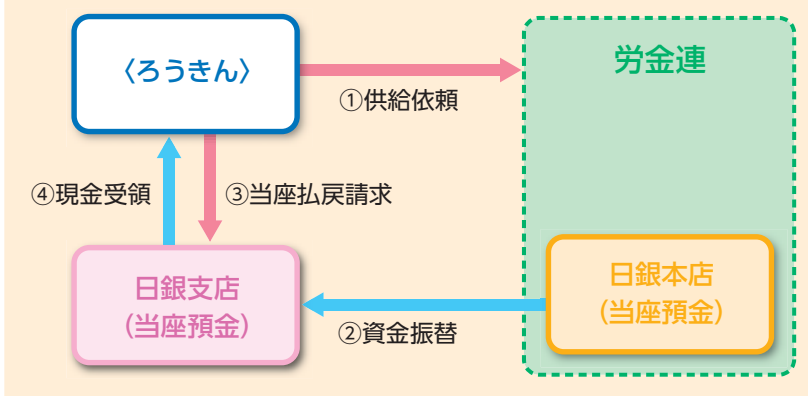
労金連は、全国の〈ろうきん〉が日々必要とする業務用現金を安定的かつ確実に調達できるよう、〈ろうきん〉業態で唯一認められている日本銀行本支店との当座取引を通じて現金の供給を行っています。

また、余剰となった現金は日本銀行の当座預金口座へ入金しています。

<2013年度取扱実績>

日本銀行からの現金払戻	576件	1兆1,851億円
日本銀行への現金入金	97件	50億円

《労金連の現金供給業務の流れ》



● 財形業務

労金連は、全国規模の企業・団体における財形預金の事務手続き（各種書類の授受や積立金の振込など）が円滑に行われるよう、全国〈ろうきん〉の窓口としての役割を担っており、ろうきん財形契約件数298万件のうち、53万件が労金連を通じて取引されています。（2014年3月31日現在）

また、財形預金のトップバンクとして“便利で使いやすい財形預金”を目指し、残高通知や払戻手続き等のサービス向上、さらに財形制度の改善にも積極的に取り組んでいます。

● 確定拠出年金業務

（企業型確定拠出年金）

労金連は、全国の〈ろうきん〉を代表して、確定拠出年金の商品提供機関の役割を担っており、元本確保型商品である「ろうきん確定拠出年金定期預金（期間5年）」を提供しています。

また、労金連が確定拠出年金の運営管理機関となる総合型確定拠出年金「ろうきんDCプラン」を取り扱っています。

さらに、労金連では、各種情報提供ツールの作成や、企業年金セミナーの開催支援、加入者教育に関する講師の養成など、全国の〈ろうきん〉が実施する「企業年金

に係る役割発揮宣言」の取組みの強化・サポートも行っています。

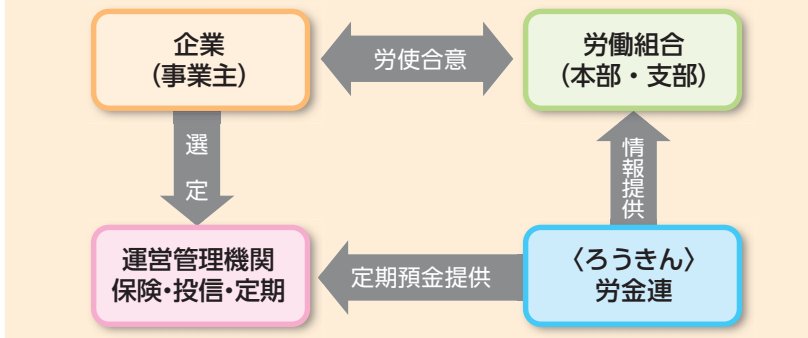
（個人型確定拠出年金）

〈ろうきん〉では、税制優遇措置のある個人型確定拠出年金を、60歳以降の生活を支える重要な商品と位置付け、全国の〈ろうきん〉が運営管理機関となり、加入者や運用指図者の方々への対応を行っています。

労金連では、全国の〈ろうきん〉の個人型確定拠出年金業務をサポートしています。



《企業型年金の仕組み》



● 国債窓販業務

〈ろうきん〉では、お客さまの資金運用ニーズに幅広くお応えするため、利付国債(2年、10年)および個人向け国債(3年、5年、10年)の窓口販売業務を行っています。

労金連は、〈ろうきん〉が行う国債窓口販売に係る取りまとめ機能を担うことにより、〈ろうきん〉の国債窓口販売業務をサポートしています。

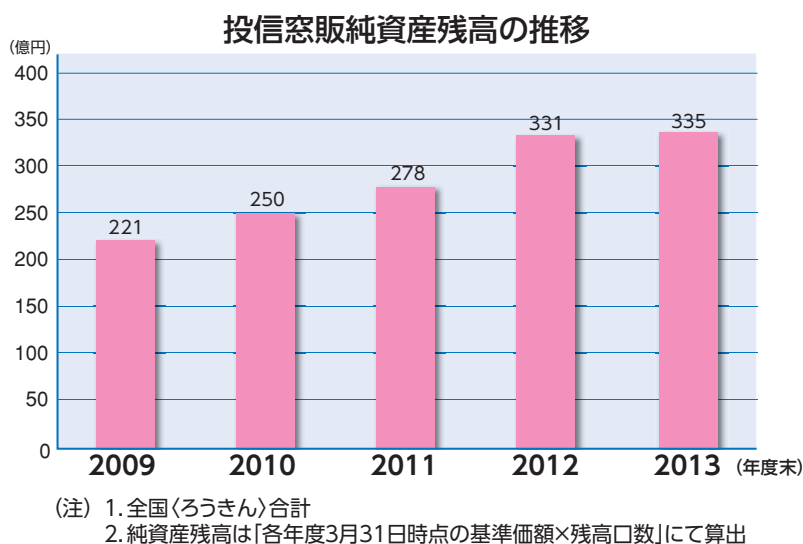


● 投信窓販業務

〈ろうきん〉は、登録金融機関として投資信託の販売を行っています。

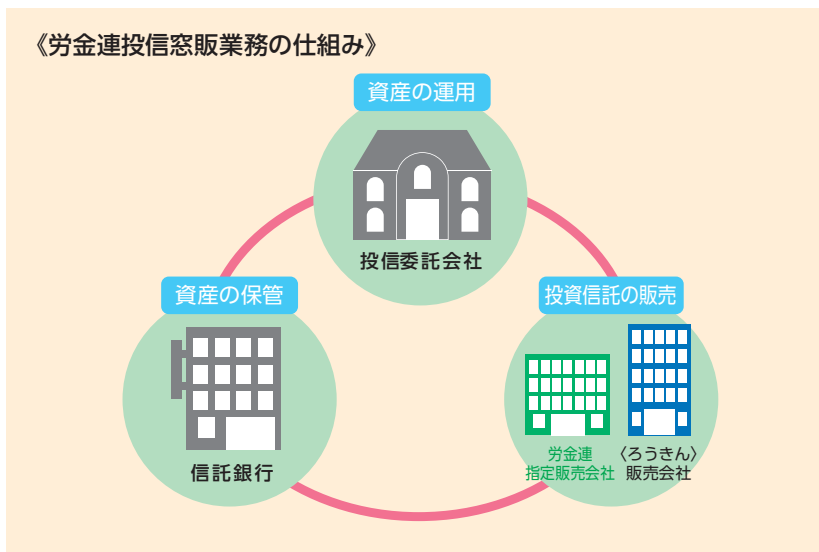
労金連は、全国の〈ろうきん〉の委託を受け、投信委託会社、信託銀行との間で指定販売会社としての取りまとめ機能を担っています。

また、投資信託の商品の選定を行い、MMFから株式投資信託まで、投資対象資産や投資対象地域の分類等による幅広い品揃えを〈ろうきん〉に提供するなど、各〈ろうきん〉における資産運用サービスのサポートに取り組んでいます。



● その他

労金連では、商品有価証券売買業務、社債受託および登録業務、ならびに信託業務は行っていません。



総合事務センター

総合事務センターは、1989年全国〈ろうきん〉のオンライン業務を担う共同センターとして設立され、全国労働金庫統一オンラインシステムとして開発したユニティシステムを翌1990年5月に稼働させました。

その後、順次システム機能を拡張しながら情報化社会への対応やお客さまのさまざまな金融ニーズにお応えしてきました。

2008年には新しいオンラインシステムの構築に着手し、より充実した商品の

提供、ATMサービス時間の拡大(セブン銀行ATMご利用の労金取引は24時間可能)、業務継続に備えたバックアップサイトの構築等、大幅に機能アップを図り、2014年1月「アール・ワンシステム(R・ONE)」として稼働しました。

総合事務センターは内国為替、MICS加盟の金融機関、ゆうちょ銀行、セブン銀行、イオン銀行などとのATM提携、第二地方銀行・信用金庫・信用組合との「入金ネット」提携、さらにコンビニエンスストアやスーパーのATMが利

用できるほか、デビットカードサービス、Pay-easy(ペイジー)口座振替受付サービスなど、各種提携業務のシステムセンターとしての役割も担っています。

また、お客さまが来店することなくお取引ができるチャネルとして、パソコンや携帯電話・スマートフォンによる「ろうきんダイレクト」などのサービスを提供しています。なお、これらのチャネルについてはお客さまに安心してご利用いただくため、万全なセキュリティ対策を備えております。

